

第 12 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、それぞれ 200 字以内（句読点含む）で記入すること。

問 1

原価計算制度とは、財務会計機構と有機的に結びつき常時継続的に実施される計算体系であり、^{*}原価計算の目的でもある財務諸表作成、^{*}価格計算、^{*}予算管理、^{*}原価管理の各目的が達成されるべき一定の計算秩序としての意味を持つ。^{*}しかし原価計算制度は、近年の建設業で必要とされる特殊原価調査に資する情報は得られず、将来の意思決定の情報としては不十分である。そのため、経営の基本計画目的での原価情報の提供が求められている。

問 2

間接費の正常配賦は、工事間接費予算と基準操業度を用いることで、実際配賦よりも間接費の配賦を迅速かつ正常に行うことができる。^{*}これは予定配賦においても同じことがいえるが、正常配賦では来年度以降 2～3 年分といった長期的な資料を用いて配賦率を算定するため、^{*}配賦の正常性を重視した方法だといえるのに対し、^{*}予定配賦では来年度の資料のみで配賦率を算定するため、^{*}配賦の迅速性を重視した方法だといえる。^{*}

予想採点基準

☆の前の文の内容が
正解で 2 点 × 10 = 20 点

〔第2問〕

記号(ア～ク)

1	2	3	4
カ	イ	エ	ウ

☆ ☆★ ☆ ☆★

予想採点基準

☆…2点×4= 8点

★…1点×2= 2点

合計 10点

〔第3問〕

問1 ￥ ☆☆

問2 ￥ ☆☆

問3 ￥ ☆☆

記号(AまたはB) ☆

予想採点基準

☆…2点×7=14点

〔第4問〕

(ア) ￥ ☆

(イ) ￥ ☆

(ウ) ￥ ☆

(エ) ￥ ☆

(オ) ￥ ☆

(カ) ￥ ☆

(キ) ￥ ☆

(ク) ￥ ☆

予想採点基準

☆…2点×8=16点

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書			
自 平成×3年10月 1日			
至 平成×4年 9月30日			
		福島建設工業株式会社	
		(単位：円)	
I	材料費	☆☆	<input type="text" value="1,230,492"/>
II	労務費	☆☆	<input type="text" value="863,980"/>
	(うち労務外注費	☆☆	<input type="text" value="315,910"/>)
III	外注費	☆☆	<input type="text" value="619,540"/>
IV	経 費	☆★	<input type="text" value="613,806"/>
	(うち人件費	☆☆	<input type="text" value="365,680"/>)
		完成工事原価	☆☆ <input type="text" value="3,327,818"/>

問2

¥ ☆☆

問3

搬送部門費配賦差異	☆ ¥	<input type="text" value="2,051"/>	記号(AまたはB)	★	<input type="text" value="B"/>
予算差異	☆ ¥	<input type="text" value="3,476"/>	記号(AまたはB)	★	<input type="text" value="B"/>
操業度差異	☆ ¥	<input type="text" value="1,425"/>	記号(AまたはB)	★	<input type="text" value="A"/>

予想採点基準

☆…2点×18=36点
 ★…1点×4=4点
 合計 40点